

【格付け維持】 龍谷大学

発行体格付け： AA - [格付けの方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け維持の理由】

浄土真宗本願寺派(西本願寺)の僧侶養成機関を発祥とする学校法人。龍谷大学は1989年に仏教系大学として初めて理工学部を開設し、現在は7学部と短期大学部の体制である。京都市と滋賀県大津市に計3キャンパスを有し、大学と大学院を合わせて1万8000人あまりの在籍者を抱えている。

長期的視野に立った堅実な運営により、良好な財務を維持している。新学費制度の導入や、新学科および法科大学院の設置に伴う人件費などの経費増で、2004年度の単年度収支は悪化したものの、中期的には事業計画通りに推移している。教職員にコスト意識が浸透しており、少子化が進む中でも収支が急速に悪化する懸念は小さい。創立370周年に向け記念事業を進めているが、過去の西本願寺からの積極支援を勘案すると、内部留保資産を大きく減らす状況は考え難く、将来的な財務の安定性は高い。

2006年度入試は制度改革が奏効し、志願者が増加に転じた。今後も受験生のニーズに適切に対応していくことで、競合校と比べて著しく志願者を減らすことはないとみている。ただ、理工学部を取り巻く環境は厳しく、募集状況には引き続き注目している。西本願寺関係校が加盟する龍谷総合学園との連携が教育面で成果を挙げつつあるほか、龍谷大学ならではの伝統を生かした研究も進んでいる。こうした取り組みが学生募集力の向上につながるか注視する。以上を総合的に判断し発行体格付けをAA-に据え置いた。格付けの方向性は安定的。

【格付け対象】

発行者：学校法人龍谷大学

名称	格付け	格付けの方向性
発行体格付け	AA - (維持)	安定的

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務(債券やローンなど)の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。